

### **3. 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」 懇談会〔とりまとめ（案）〕**

## はじめに

北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会の設立趣旨  
北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会の概要  
市民参画型道路計画の流れ

## (1) アンケート調査結果

豊岡道路アンケート調査結果

## (2) 懇談会での議論の内容

但馬地域の交通における現状と課題  
豊岡道路に求められる機能及び整備効果  
豊岡道路の必要性  
コウノトリに関する検討  
景観の考え方  
農業への配慮  
コントロールポイントと配慮事項  
概略ルート(推奨案)

## (3) 配慮事項

豊岡道路計画における配慮事項  
概略ルート(推奨案)の配慮事項

## おわりに

今後の予定  
あとがき

# 「豊岡道路」市民参画型道路計画(アンケート調査及び懇談会)の流れ

**住 民**  
 「豊岡道路」アンケート調査  
 平成19年8月～9月

情報発信  
 ←  
 →  
 意見

- 懇 談 会**
- 第1回 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会  
 平成20年2月8日開催  
 ・豊岡道路に求められる機能及び整備効果  
 (豊岡道路アンケート結果より)
  - 第2回 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会  
 平成20年3月13日開催  
 ・豊岡道路計画で考慮する事項  
 (コントロールポイントと配慮事項)
  - 第3回 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会  
 平成20年6月13日開催  
 ・概略ルート案(3案)を提示して比較
  - 第4回 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会  
 平成20年9月2日開催  
 ・概略ルート(推奨案)  
 ・懇談会「とりまとめ(案)」

情報発信  
 (資料作成)  
 ←  
 →  
 意見

事務局

情報発信  
 (ホームページ)  
 →  
 ←  
 意見

住 民

懇談会「とりまとめ」

→  
 情報発信  
 (ホームページ、市広報)  
 →  
 ←  
 意見

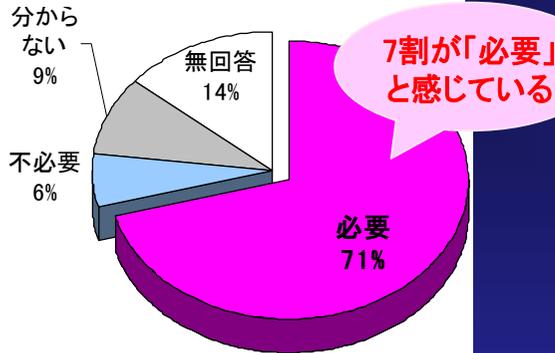
# (1) アンケート調査結果

配布数	回収数	回収率
34,286	11,862	34.6%

(平成19年8月下旬～9月下旬, 豊岡市内全世帯及び商工会議所・商工会会員全員に配布)

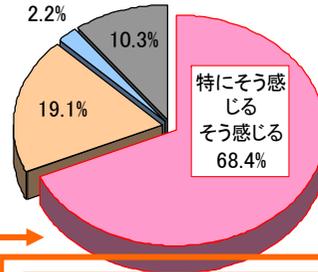
## ① 豊岡道路に求められる機能及び整備効果

### 豊岡道路が必要と思うか

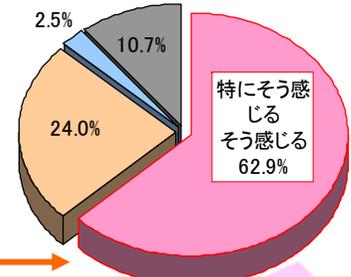


### 「豊岡道路」の整備で期待される効果

観光客が増え、地域が活性化と思う

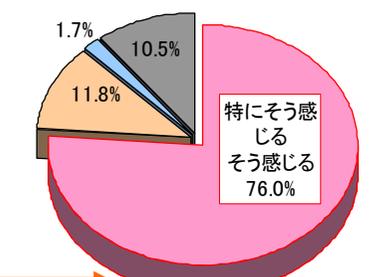


産業の競争力が増し、地域が活性化と思う



### ～アンケート結果～

観光シーズンなど休日の交通渋滞が緩和と思う



地域を活性化

所要時間の大幅短縮

観光客の増加

企業立地の促進

生活道路の渋滞緩和

環境と暮らしを守る

交通事故の減少

自然・環境との調和

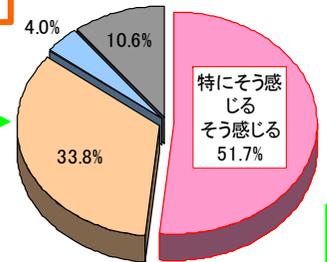
災害時の輸送道路確保

地域医療の支援

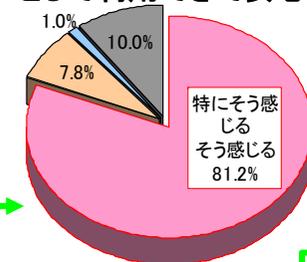
冬季交通の確保

豊岡道路整備による地域活性化と渋滞緩和に多くの方が期待を寄せている

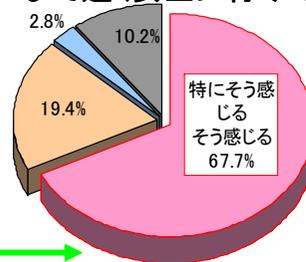
豊岡の市街地の道路で交通事故が減ると思う



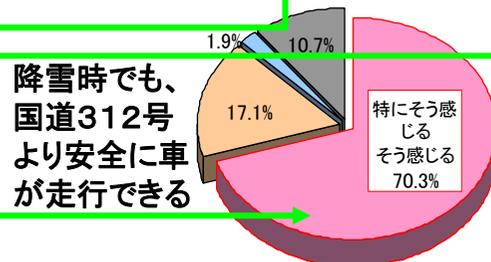
災害時緊急輸送道路として利用できて安心



第3次救急医療施設の豊岡病院まで速く安全に行けて安心



降雪時でも、国道312号より安全に車が走行できる



環境と暮らしを守るための道路整備に期待が高い

(凡例)  
 ■ 特にそう感じる  
 ■ そう感じる  
 ■ あまり感じない  
 ■ 全く感じない  
 ■ 無回答

## ②豊岡道路を整備する際にどの様なことに配慮すべきか

地域を活性化

所要時間の大幅短縮

観光客の増加

企業立地の促進

生活道路の渋滞緩和

環境と暮らしを守る

交通事故の減少

自然・環境との調和

災害時の輸送道路確保

地域医療の支援

冬季交通の確保

市街地の改変

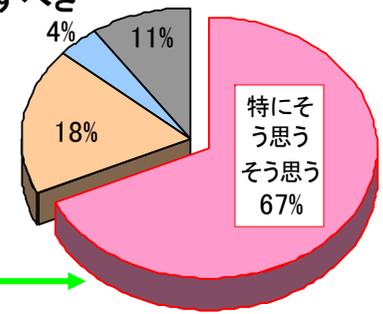
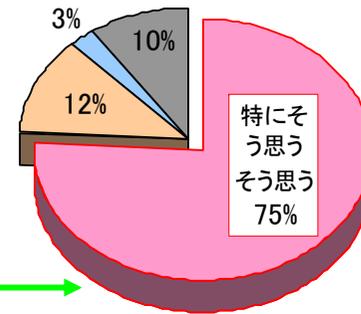
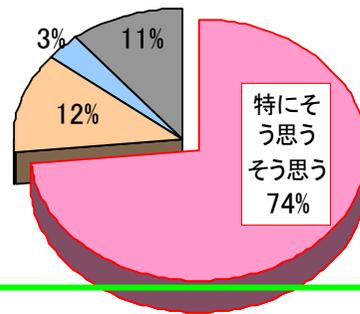
### 「豊岡道路」を整備する際に、どの様なことに配慮すべきか

～アンケート結果～

豊岡市の西側にルートが  
来ることは概ね妥当

住宅地を避けるルートとすべき

コウノトリやタカなど貴重な動植物  
と共存できるルート・構造に  
すべき

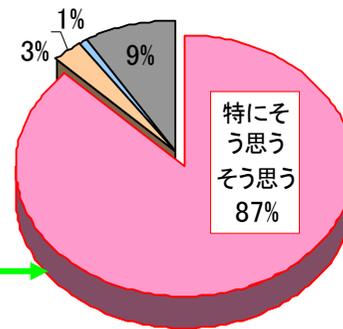
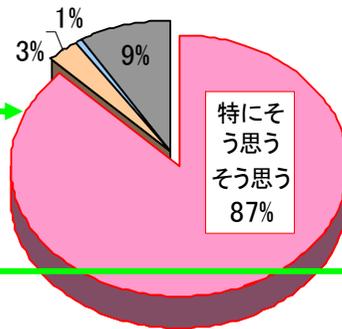


(凡例)

- 特にそう思う
- そう思う
- あまり思わない
- 全く思わない
- 無回答

災害時でも緊急輸送道路として  
走行できるルート・構造にすべき

除雪した雪を道路端に置き、  
冬場でも走行しやすい道幅にすべき



市民の暮らしや動植物との共存など  
環境を守ることに  
配慮した道路整備  
が求められている

## (2) 懇談会での議論の内容

### ① 豊岡道路に求められる機能及び整備効果

地域を活性化

所要時間の大幅短縮

・大都市圏や、近畿圏外の各地とのアクセス性も向上

観光客の増加

・観光地が身近になり、来訪客の増加が期待

企業立地の促進

・物流の迅速化で沿線の新規企業立地が進む

生活道路の渋滞緩和

・朝と夕方、観光シーズンの渋滞が緩和

環境と暮らしを守る

交通事故の減少

・国道312号等での交通事故の発生を低減

自然・環境との調和

・但馬の豊かな自然環境に配慮した計画とする

災害時の輸送路確保

・災害時における緊急輸送路として機能する

地域医療の支援

・公立豊岡病院へのアクセスが向上

冬季交通の確保

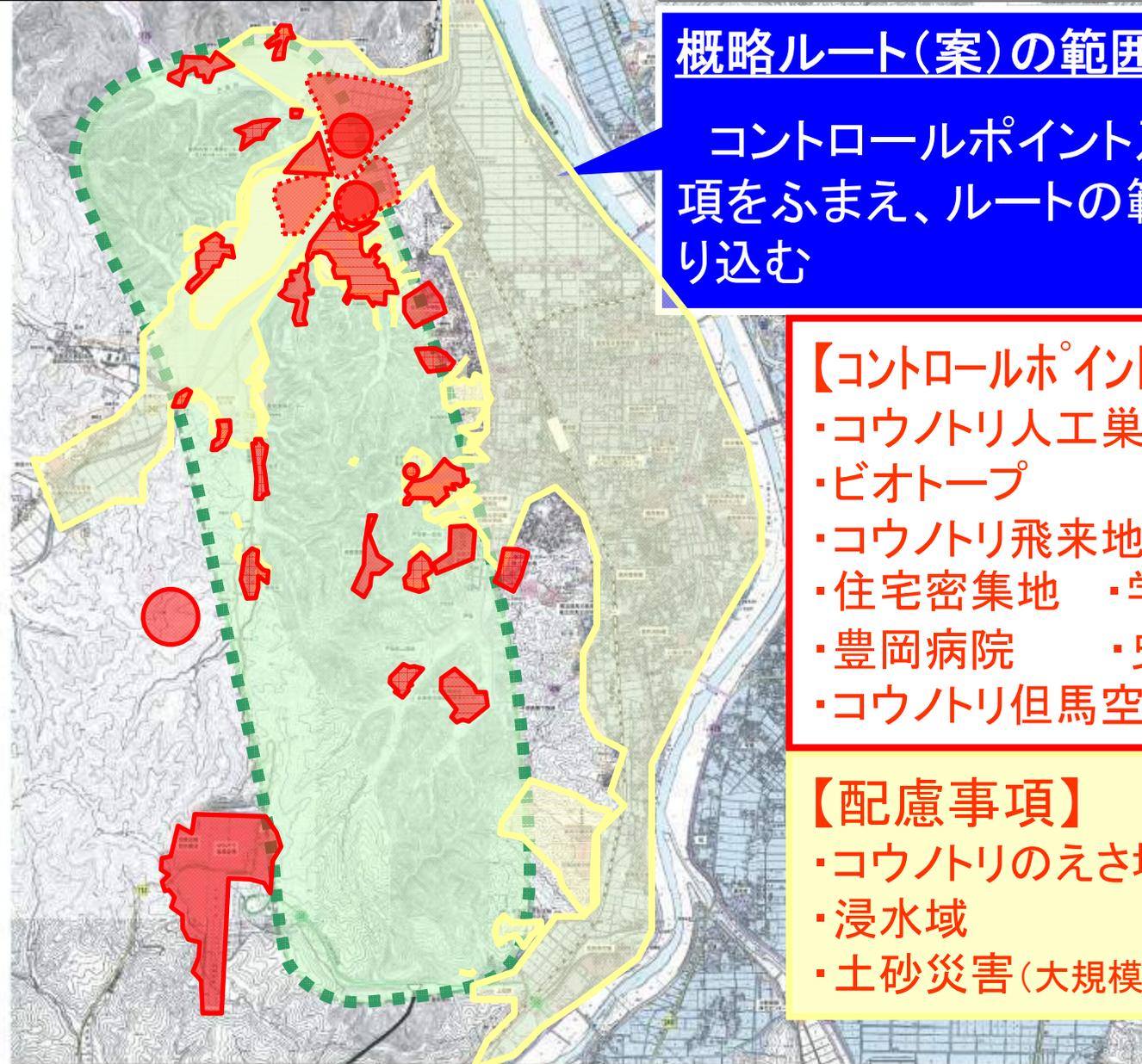
・大雪時でも但馬地域の市民の生活を支える

## ②「豊岡道路」懇談会での主な意見

主な意見	対 応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間短縮による地域活性化のため高規格幹線道路(高速道路)としての豊岡道路の整備が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間短縮効果の大きい高規格幹線道路(高速道路)として豊岡道路を整備する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化のため早期整備が重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化のため、早期供用が図れる様に努力して計画を進める</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬地域の課題に対して、既存一般道路改良と豊岡道路(高速道路)整備の効果の比較検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較検討の結果、求められる機能と役割に対応する豊岡道路(高速道路)整備が適切と判断した</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターチェンジの必要性について議論する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡病院と市街地からアクセスのよい位置に1箇所中間インターチェンジを設置する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福田・柘江の水田はコウノトリのえさ場となっている</li> <li>・コウノトリなど豊岡の自然財産を見に来てもらう道路としたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリに対する配慮を行いながら地域活性化に資する道路を整備する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮が必要</li> <li>・道路の内部景観(ドライバーの視点)への配慮が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮(案)を提示</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境への配慮に関して、懇談会と環境アセスメントの位置付けが不明確</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡道路の事業の流れを説明し、今後実施する環境影響評価(環境アセスメント)実施時に動植物の調査などの詳細な環境現地調査を実施する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の保全と創造など、環境全体に配慮した道路づくりを積極的に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡においての、生物の生息環境の連続性を確保する取り組みに配慮した計画とし、水田通過部においては、生物の生息環境の連続性に配慮する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業従事者への配慮が必要で、近年食料自給率の確保が重要視され水田や畑を壊さない道路計画にすべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリ育む農法などの地域の農業に対する取り組みに配慮し、優良農地の通過延長を短くする</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会の時点から景観に配慮し検討する必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概略ルート(案)レベルでのイメージスケッチを作成して検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡道路のコントロールポイントと配慮事項と概略ルート(案)の範囲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡道路のコントロールポイントと概略ルート(案)の検討範囲について整理して検討</li> </ul>

### ③概略ルート(推奨案)の決定経緯

#### コントロールポイントと配慮事項



### 3. 概略ルート(案)の範囲の考え方

#### 概略ルート(案)の範囲の考え方

コントロールポイント及び配慮事項をふまえ、ルートの範囲を絞り込む

#### 【コントロールポイント】

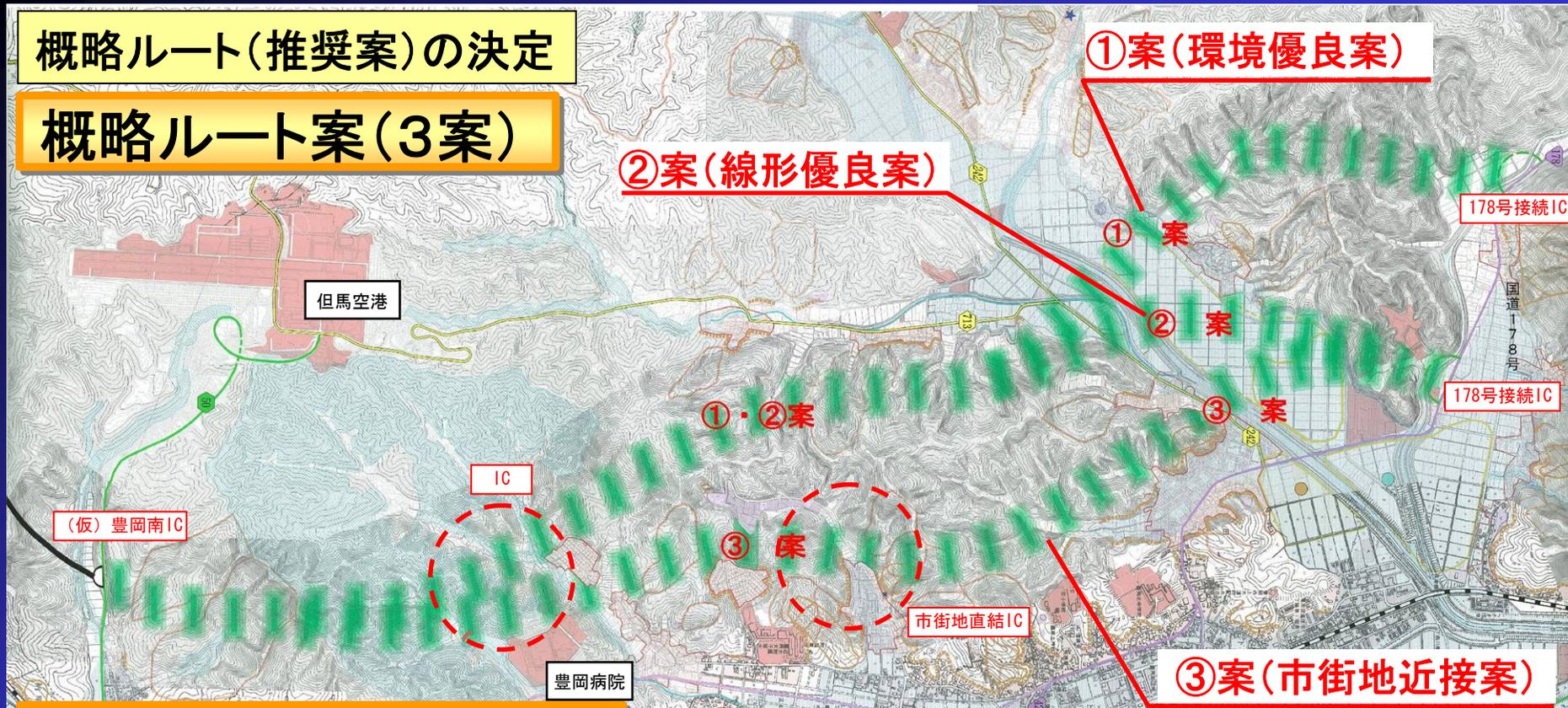
- ・コウノトリ人工巣塔
- ・ビオトープ
- ・コウノトリ飛来地(えさ場)
- ・住宅密集地
- ・学校
- ・豊岡病院
- ・史跡・霊園
- ・コウノトリ但馬空港
- 等

#### 【配慮事項】

- ・コウノトリのえさ場(将来)
- ・浸水域
- ・土砂災害(大規模なもの除く)

## 概略ルート(推奨案)の決定

### 概略ルート案(3案)



### 概略ルート(推奨案)

#### ①案(環境優良案)

3つの概略ルート(案)の比較を行った結果、[①案(環境優良案)]が、環境との調和などにおいて他の案に比べ優れており、コウノトリのえさ場及び農地への影響が少なく、地形改変量が少なく、景観に優れ、軟弱地盤通過延長が短い。

※地域を活性化する道路の機能や役割と費用については、3案ともほとんど差がない。

[①案(環境優良案)]を概略ルート(推奨案)とする

## **( 3 ) 配慮事項**

- ① 豊岡道路計画における配慮事項**
- ② 「豊岡道路」概略ルート（推奨案）での配慮事項**

# ①豊岡道路計画における配慮事項(案)

地域を活性化させ、環境と暮らしを守ることに配慮した計画

地域を活性化	所要時間の大幅短縮	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間短縮効果の大きい高規格幹線道路として整備する</li> <li>近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路と連携し、将来、鳥取豊岡宮津自動車道が計画されれば接続し、高速道路ネットワーク全体の機能向上と、京阪神との時間短縮により、但馬地域を活性化させる道路とする</li> <li>地域活性化のため、早期供用が図れる様に努力して計画を進める</li> </ul>
	観光客の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>但馬の自然環境を活かした観光資源へのアクセス向上、広域的な観光周遊の円滑化により、観光活性化を支援する道路とする</li> </ul>
	企業立地の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業・物流拠点や市中心部とのアクセス向上が図られる計画とする</li> </ul>
	生活道路の渋滞緩和	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地西側の山地部を通過させて市街地の通過交通を排除し、市街地からアクセスしやすい位置にインターチェンジを計画して、市街地から各方面への交通を豊岡道路に分担させ、既存一般道路の渋滞を緩和するとともに、交通事故を削減する</li> </ul>
環境と暮らしを守る	交通事故の減少	
	自然・環境との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の機能と利便性や経済性と、環境や景観とのバランスを考慮したルート・構造とする</li> <li>自然環境の豊かな地域の道路であり、地形改変ができるだけ少ないルート・構造とする</li> <li>環境影響評価実施時に、動植物の調査を十分行って適切な対応を図る</li> </ul>
	生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系の頂点にあるコウノトリやオオタカでも暮らせるような生物多様性のある生態系ネットワークに配慮した計画とし、動植物との共生が図れるように、生息・生育地の分断をできるだけ避けて計画する</li> </ul>
	貴重野生生物との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>コウノトリの利用頻度の高い餌場(福田・栃江の水田)はできるだけ大きなまとまりで残すルートにするとともに、コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮を行う</li> <li>オオタカの営巣期高利用域は避けて計画する</li> </ul>
	生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅地等の生活環境への影響をできるだけ及ぼさないようなルート・構造とする</li> </ul>
	景観との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>但馬の景観と調和しながら、魅力的な景観を創出するルート・構造とする。</li> </ul>
	災害時の輸送道路確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時においても寸断しにくい道路とし、緊急輸送道路の確保及び但馬空港にある広域防災拠点との連絡を確保して、災害時の市民の命を守り、災害時の生活圏の孤立を防ぐ道路とする</li> <li>大雨でも浸水しない高さで計画するとともに、軟弱地盤の通過延長が短いルートとする</li> </ul>
	地域医療の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>但馬地域唯一の第3次救急医療施設である豊岡病院付近にインターチェンジを計画する</li> </ul>
冬季交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬季の快適な交通サービスを支えられる様に、積雪時の交通確保に配慮した計画とする</li> </ul>	
市街地の改変など	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の社会活動及び生活環境への影響に配慮し、公共施設や住宅等を可能な限り避けたルート・構造とする</li> <li>優良農地の通過延長をできるだけ短くするルートとする</li> <li>地域の墓地や文化財等に配慮した計画とする</li> </ul>	

